

A C E ボール大会（教室）開催に向けての感染拡大予防ガイドライン

明石市スポーツ推進委員会

1. はじめに

本ガイドラインは、新型コロナウイルス対策に関するスポーツ庁、日本スポーツ協会から示された各種の指針や、感染症対策専門家会議での状況分析や提言を踏まえて、A C E ボール競技における大会・教室・講習会・研修会等再開に当たっての基準と再開後の開催時における感染拡大予防のための留意点について、明石市スポーツ推進委員会がまとめたものです。

なお、本ガイドラインの感染拡大予防策は、現段階で得られている専門家等による知見に基づき作成しています。今後の状況により、逐次見直すこととします。

2. 大会・教室等イベントの再開に当たっての基本的な考え方

普及活動の再開にあたっては、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」「大声の抑制」「スタッフの体調管理」といった感染拡大を防止する策を徹底して講じることとします。

大会・教室等への参加者に対しては、当日の検温、体調チェック、行動管理等、感染予防に関する事前の周知を徹底することとします。また、参加者名簿を作成して連絡先を把握するとともに、接触確認アプリ利用を促すなど、感染拡大防止に努めることとします。

なお、2021年2月末までの大会や教室等の参加人数（規模）については、11月12日に発出された「内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長事務連絡（以下、「内閣官房事務連絡」）」による催物の開催制限等を踏まえ、適切に判断して実施することとします。

3. 大会・教室等開催・実施時の感染防止策について

（1）参加者募集時の対応と注意喚起

主催者として、感染拡大防止のため以下の措置について参加者等に要請する。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ア) 体調がよくない場合（特に発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスク等を持参し、原則として常時必ず着用すること。（マスク等とは、口、鼻をガードし、装着できるもの。マウスシールド、フェイスシールドの使用は認めない。）
- ③ 参加者および付添者、応援者については、受付時、体温チェック、健康チェック、を実施することに同意すること。
- ④ 常にこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

- ⑤ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離は、最低1m確保すること。
- ⑥ 大会・教室等参加中は、大きな声で会話、応援等はしないこと。
- ⑦ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑧ 主催者、スタッフ、関係者、出場者以外は会場に入れないこと。
- ⑨ 参加者および付添者、応援者は、観客席でマスクを着用し三密を避けること。
- ⑩ 上記感染防止措置に従わない人や主催者の指示に従わない人は失格、退場していただくこと。
- ⑪ 大会・教室等終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

(2) 当日の参加受付時の留意事項

主催者は、安全に大会・教室等を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行う。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- ② 発熱が軽度であっても咳、咽頭痛などの症状がある人は、参加辞退を呼び掛けること。
- ③ 受付を行うスタッフ全員がマスクを着用すること。
- ④ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- ⑤ 参加者が距離を置いて並ぶように目印の設置等を行うこと。
- ⑥ 受付場所での書類の記入、受け渡し、金銭授受等はできるだけ簡素化し混雑を避けること。
- ⑦ 「兵庫県新型コロナ追跡システム」のQRコードを掲示し、参加者等に登録・活用を促すこと。

(3) 大会・教室等参加者への当日対応

主催者は、参加者等の体調の確認を含めた以下の情報について、主催者が保存できるような形で提出を求める。

- ① 参加者等の氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに注意
- ② 大会当日の体温
- ③ 大会前2週間における以下の健康チェック項目の有無
 - ア) 平熱を超える発熱
 - イ) 咳、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ) だるさ（倦怠感）、息苦しさ
 - エ) 嗅覚、味覚の異常
 - オ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - カ) 同居親族や身近な知人に感染が疑われる方の有無
 - キ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無

(4) マスク等の確認

主催者は、参加者および付添者・応援者等が、マスク等を準備・着用しているか確認する。

(5) 三密の防止

主催者は、大会に参加する個人、グループは、試合中以外でも三密を避け、会話時は必ずマスクを着用するよう周知徹底する。

(6) 大会・教室での飲食

主催者は、飲食について参加者等に以下の点に配慮するよう要請する。

- ① 飲食の可否については、主催者の判断に従うこと。
- ② 飲食をする場合は、会話を避け、1m以上間隔を空け、向き合って飲食しないこと。
- ③ 飲食物は、個々に用意しシェアしないこと。
- ④ 必ず、手洗い・消毒を行ってから飲食すること。
- ⑤ 飲食により発生したごみ（飲み残し、食べ残しも含む）は、必ず各自で持ち帰ること

(7) 消毒等の準備

主催者は、参加者等がイベント開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保する。

- ① 手洗い場には、石鹸（ポンプ式）を用意すること。
- ② 「手洗いは30秒以上」等を掲示、案内すること。
- ③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオルを用意すること。
- ④ 会場入り口、各コート、本部その他必要な箇所に、手指消毒剤を用意すること。

(8) 参加者に対する、会場（試合中を含む）での注意喚起

主催者は、参加者等に対し、会場における注意事項について周知徹底する。

- ① マスクを必ず着用すること。（審判をする場合もマスクを着用すること。）
- ② 会場の出入り時・トイレの後・試合の前後は、必ず消毒剤で手指消毒すること。
- ③ 試合ごとに用具の消毒を行い、用具・タオル等を複数人で使用、共有しないこと。
- ④ 試合開始前の挨拶は、コートを挟んで間隔を空けて立ち、挨拶すること。
- ⑤ 握手、プレー中の選手同士のタッチ等は避けること。会話等は間隔を空けて行うこと。
- ⑥ 受付後、試合中であっても、体調不良など風邪症状を感じた場合は、必ず申し出ること。
- ⑦ 試合中であっても、咳、くしゃみが続く場合はタイムをとり、様子を見て審判の判断に従うこと。

(9) 会場設営

主催者は、大会・教室等会場内の以下の点に配慮する。

- ① 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと。
 - ア) 換気設備を適切に運転すること。
 - イ) 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。
- ② 発生したごみは、必ず各自で持ち帰ること。
- ③ 最後の清掃は、マスクや手袋を着用して行うこと。
- ④ 最終清掃時のごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り回収すること。
- ⑤ マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸で手洗いし手指を消毒すること。

(10) 大会・教室等進行

主催者は、大会・教室等の進行について以下の点に配慮する。

- ① 参加者の体調不良等（咳やくしゃみ、風邪の症状）が見受けられた場合、審判の判断により試合を中断することができる。

- ② スタッフは、参加者等の体調不良や風邪の症状がみられる場合は、主催者としてその参加者等を失格・退場させることができる。

(11) 付添者・応援者等

主催者は、付添者・応援者等に対し、以下の点を要請する。

- ① 参加者以外は、観客席で応援、観覧すること。
- ② 観客席で、密状態にならないようお互いが注意しあうこと。
- ③ マスクを着用し、大きな声は出さないこと。

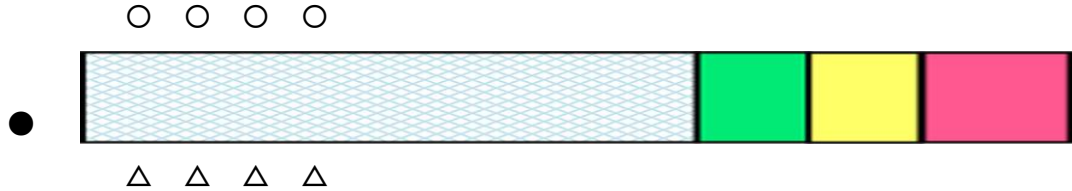
(12) その他

- ① 関係者、スタッフ、参加者、応援者含む全ての方が、新型コロナウイルス感染拡大防止策を理解し予防に努める。
- ② 当日であっても、新型コロナウイルス感染症等の流行により、会場管理者や主催者等の判断により、大会・教室の実施を中止することができる。

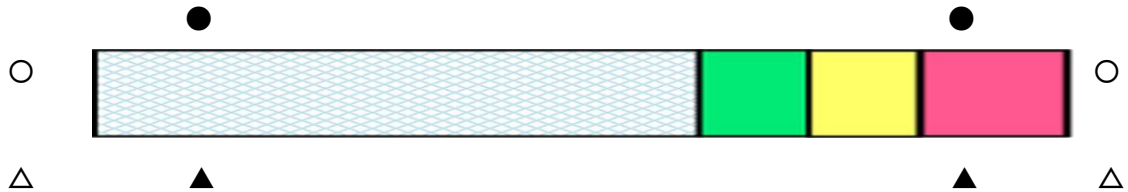
(別紙) 大会・教室実施方法 (試合形式)

- ① 試合開始前には、必ずアルコール消毒剤で手指消毒を行う。
- ② 開始時は、コートを含んで向かい合い、同一チームの選手は横1列で最低1m間隔を開けて整列する。

審判はサーバー側に立つ。



- ③ 試合開始の挨拶は一礼をもって行い、握手は行わない。
- ④ 選手および審判は試合時もマスクを着用する。
- ⑤ チームが3名以上で補欠選手がいる場合、補欠選手はコート側面にて待機する。



- ⑥ 大声を出さないようにするため、ボールの番号は、ハンドシグナル等を利用して伝える。
- ⑦ 前半戦終了後またはサーバーもしくはレシーバー交代時には、アルコール消毒剤で手指消毒する。

同時に審判はリング、ボール等の用具をアルコールを含むペーパーで消毒する。

- ⑧ 試合終了時は、開始時と同じように整列する。
- ⑨ 試合結果を確認するとともに、一礼をもって挨拶とし、握手は行わない。
- ⑩ すべての試合終了時には、再度全員がアルコール消毒剤にて手指消毒を行う。
審判はリング、ボール等用具の消毒を行う。